議員提出議案第4号

不正アクセスによる年金情報の流出に関し、再発防止策の確立を
求める意見書

上記の議案を提出する。

平成27年6月12日

提出者	瑞穂町議会議員	齋藤成宏
	〃	石川修
	〃	小川龍美
	〃	近藤浩
	〃	大坪国広

(提案理由)

不正アクセスによる年金情報の流出によって、国民の生活と財産を脅かす深刻な社会問題となっている。国会及び政府に対し、問題の全容解明を含め、実効性のある再発防止策を確立すること等を求めるため、本案を提出する。

不正アクセスによる年金情報の流出に関し、再発防止策の確立を求める意見書

日本年金機構（以下「機構」という）は6月1日、不正アクセスによって約125万件もの年金情報を流出させたことを明らかにした。公的機関からのこれだけ大量の個人情報の流出は、前代未聞であり、不信を増大させる問題が起きたことは、極めて遺憾である。今回の事案では、基礎年金番号に加えて、氏名、生年月日、住所も流出していることから、年金手続きのなりすましだけでなく、振り込め詐欺などの犯罪に悪用される怖れがある。国民の生活と財産を脅かす深刻な事態である。年金行政の責任者である厚生労働大臣は、最優先でこの問題に対処すべきである。

本件は、5月8日の機構のパソコンへの不正アクセスとウィルス感染によるものであるが、深刻な被害をもたらしたのは、機構がインターネットに繋がったパソコンで年金情報を扱っていたという個人情報管理の不備にある。他にも、機構が内規に反して、約55万件的個人情報のパスワードを設定していなかったことも明らかになっている。かつての旧社会保険庁の旧態依然とした体質が、未だに改まっていない。

よって、瑞穂町議会は、国会及び政府に対し、問題の全容解明はもちろん、対象者が犯罪等の被害に遭わないよう万全の対策を講じること、実効性のある再発防止策を確立することを強く要請する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成27年6月12日

東京都西多摩郡瑞穂町議会

衆議院議長
参議院議長
内閣総理大臣
厚生労働大臣
国家公安委員会委員長 宛